

# 震災復興祈念公園に関するこれまでの検討状況

## 1 陸前高田市の復興計画と公園の位置づけについて

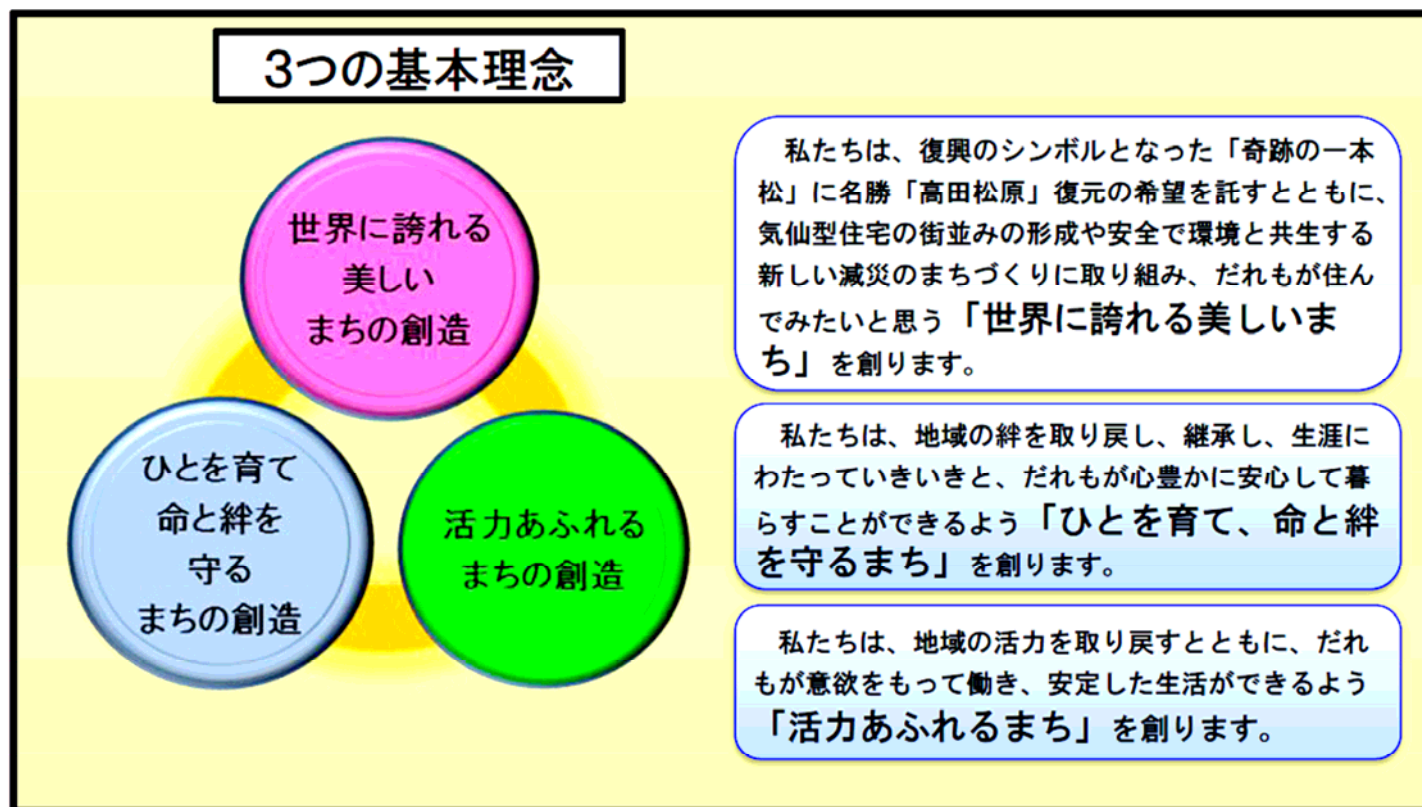
---

1. 陸前高田市震災復興計画
2. 復興計画の考え方（陸前高田市が目指すまちの姿など）
3. 復興計画における公園の位置づけ
4. 震災復興祈念公園に関わる地域の取り組み

# 1. 陸前高田市震災復興計画

◇地元団体の代表、市議会議員、学識経験者など総勢55名で構成される「震災復興計画検討委員会(全5回)」(委員長:中井検裕(東京工業大学教授))において検討しました

◇復興計画(素案)について、地区住民説明会(市内11地区会場、参加者数1,716名)、市議会での議決を経て平成23年12月に「陸前高田市震災復興計画」を策定しました

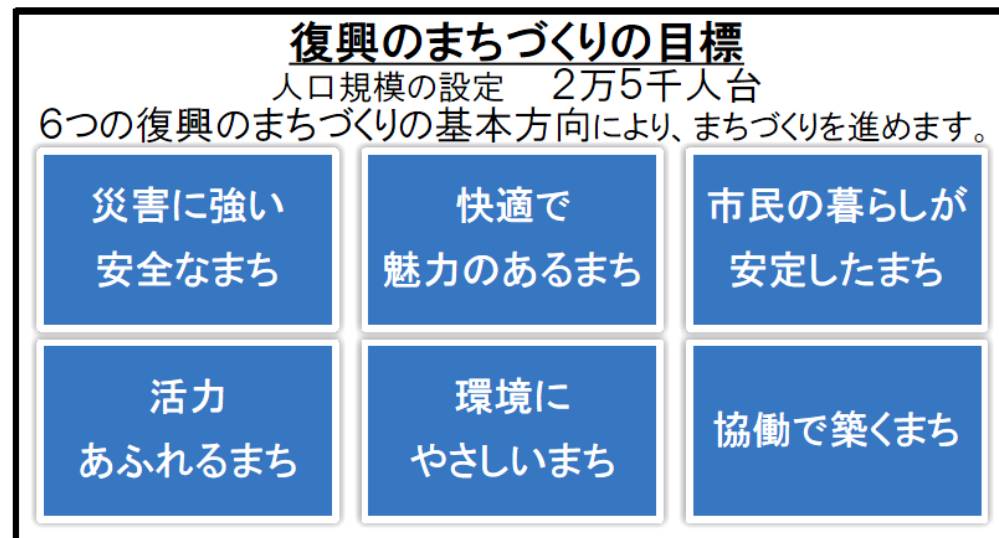


## 2. 復興計画の考え方（陸前高田市が目指すまちの姿など）

- ◇復興の基本理念を踏まえ、被災した海、高田松原、市街地や集落の復興をめざし、陸前高田市のめざすまちの姿を以下のとおり定めます
- ◇人口規模を2万5千人台に設定し、6つの復興のまちづくりの基本方向を定め、「復興のめざすまちの姿」を目指したまちづくりを進めます

### 復興のめざすまちの姿

## 海と緑と太陽との共生・海浜新都市の創造



「陸前高田市震災復興計画(H23.12)より抜粋」

### 3. 復興計画における公園の位置づけ

◇「1 災害に強い安全なまち」あるいは「2 快適で魅力のあるまち」など復興まちづくりの基本方向や重点目標の中で、公園を位置づけています

#### 1 災害に強い安全なまち

高田松原地域については、防潮堤、海岸防災林の整備促進を図るとともに、背後地は国営等による防災メモリアル公園の設置を促進し、海と緑が織りなす松林を再生します。

#### 2 快適で魅力のあるまち

海岸地域の低地部は、防災性や安全性、景観等に配慮し、産業用地、公園、緑地帯等の利用を基本に、公有地化を促進します。

#### 《復興の重点計画》

- 第1 新市街地と産業地域、防災道路網の形成
- 第2 高田松原地区・防災メモリアル公園ゾーンの形成**
- 第3 今泉地区・歴史文化を受け継ぐまちの再生
- 第4 氷上山麓地区・健康と教育の森ゾーンの形成
- 第5 高田沖地区・太陽光発電所誘致等の推進
- 第6 浜田川地区・大規模施設園芸団地の形成
- 第7 小友浦地区・干拓地の干潟再生
- 第8 広田半島地区・海洋型スポーツクリエイション拠点の形成
- 第9 漁港背後地等を活用した水産関連業務団地の形成
- 第10 緑の帯でつなぐメモリアルグリーンベルトの創出
- 第11 地区コミュニティ別居住地域の再生



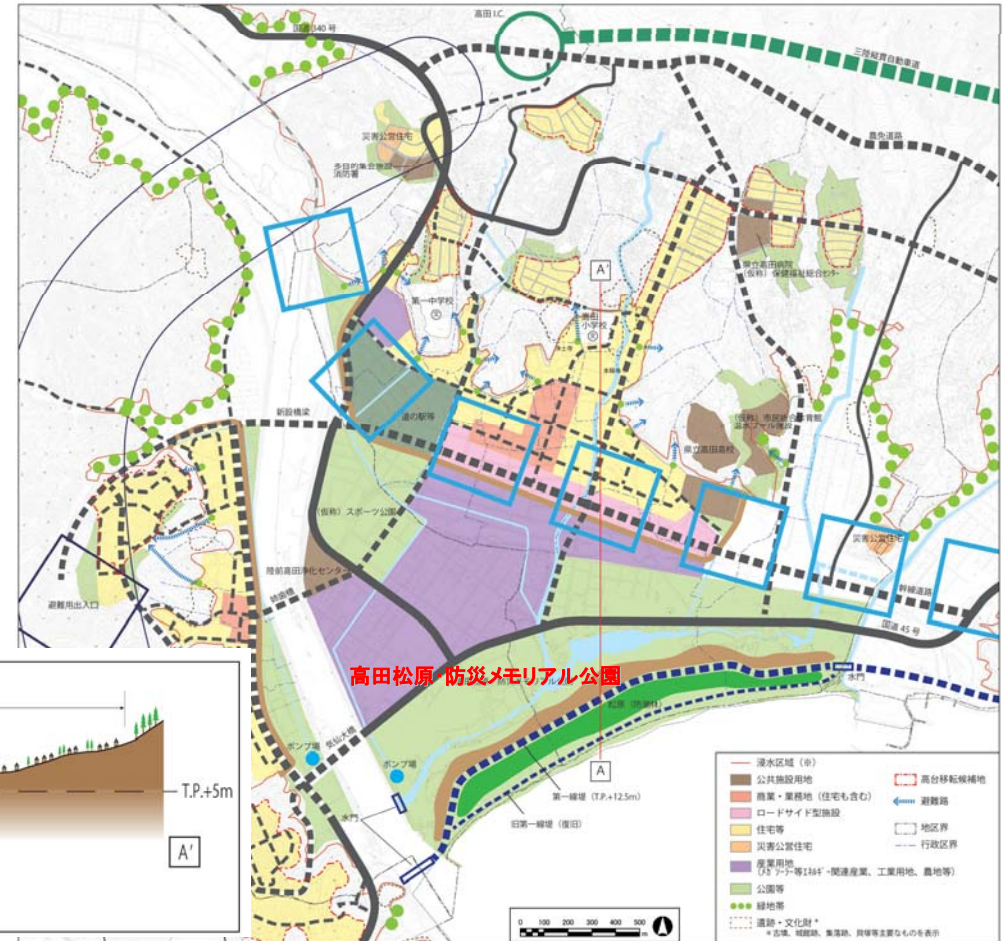
「陸前高田市震災復興計画(H23.12)より抜粋



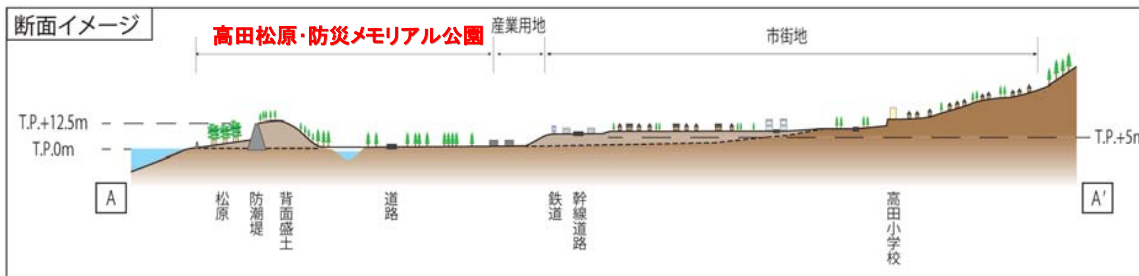
### 3. 復興計画における公園の位置づけ

◇震災復興計画イメージ図の中でも「高田松原・防災メモリアル公園」を明示しています

◇まちづくりの目標別計画主要事業においても、「防災メモリアル公園の整備」が、国・県・市を事業主体とする国営等公園整備事業として位置づけています



陸前高田市 震災復興計画イメージ図



復興基本政策 3	風光明媚な高田らしい美しいまちの景観や空間を形成する。									
事業名	事業主体	事業概要								
国営等公園整備事業	国・県・市	津波犠牲者の鎮魂、教訓継承施設の整備とともに、海岸防災施設を整備し、市民の憩いの場として防災メモリアル公園を整備する。 ・防災メモリアル公園の整備								
			実施年度							
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30

## 4. 震災復興祈念公園に関わる地域の取り組み

### 市民等における主な取組経緯

- ◇ 「国営防災メモリアル公園を陸前高田市に誘致する会」が発足し、署名活動やPR活動を展開しています
- ◇ 署名については、計33,673筆（市内 14,735筆、市外 18,938筆）が集まり、要請書を関係省庁に、署名は国土交通省に提出しています

平成24年  
4月

「国営防災メモリアル公園を陸前高田市に誘致する会」発足  
(発起人:議員連盟会長、市コミュニティ推進協議会連合会会長、高田松原を守る会長)

平成24年  
5月

高田松原地区に国営防災公園整備を求めるための署名活動を開始  
誘致に向けた各種PR活動(例:「名勝高田松原」と「奇跡の一本松」作品展)を開始

平成24年  
6月

高田松原地区に国営防災公園整備を求めるための要請書及び署名の提出  
【主な提出先:復興庁、財務省、国土交通省】



「『国営防災メモリアル公園を陸前高田市に誘致する会』ホームページより抜粋」

平成24年  
9～10月

(予定)全国都市緑化フェアTOKYOにおけるPR活動 ※県・市等と連携

## 2 公園に関わる岩手県及び国などの動き

---

1. 県内の国営公園候補地の選定の経緯と理由
2. 国営メモリアル公園誘致にむけた岩手県の取り組み
3. 高田松原周辺における県管理施設等の復旧方針
4. 高田松原地区の土地利用に関する法規制
5. 三陸創造プロジェクト ～取組の事例（国際防災研究拠点）
6. 東日本大震災復興祈念公園に関する国の検討状況

# 1. 県内の国営公園候補地の選定の経緯と理由

- ◇市町村の意向調査結果を踏まえ、既存の公園機能の再生や復興のまちづくりの一翼を担う多重防災機能への期待等の視点から、候補地の選定を行いました
- ◇選定の基本的考え方などから総合的に判断し、陸前高田市「高田松原地区」を国営公園の候補地として選定しました

## ①市町村への意向調査（平成23年7月、8月）

復興に係る公園緑地整備の構想について、被災12市町村の意向調査を実施  
【意向調査等の結果（平成23年9月22日時点）：公園整備構想21箇所、9市町村】

## ②国営公園の候補地選定（平成23年10月）

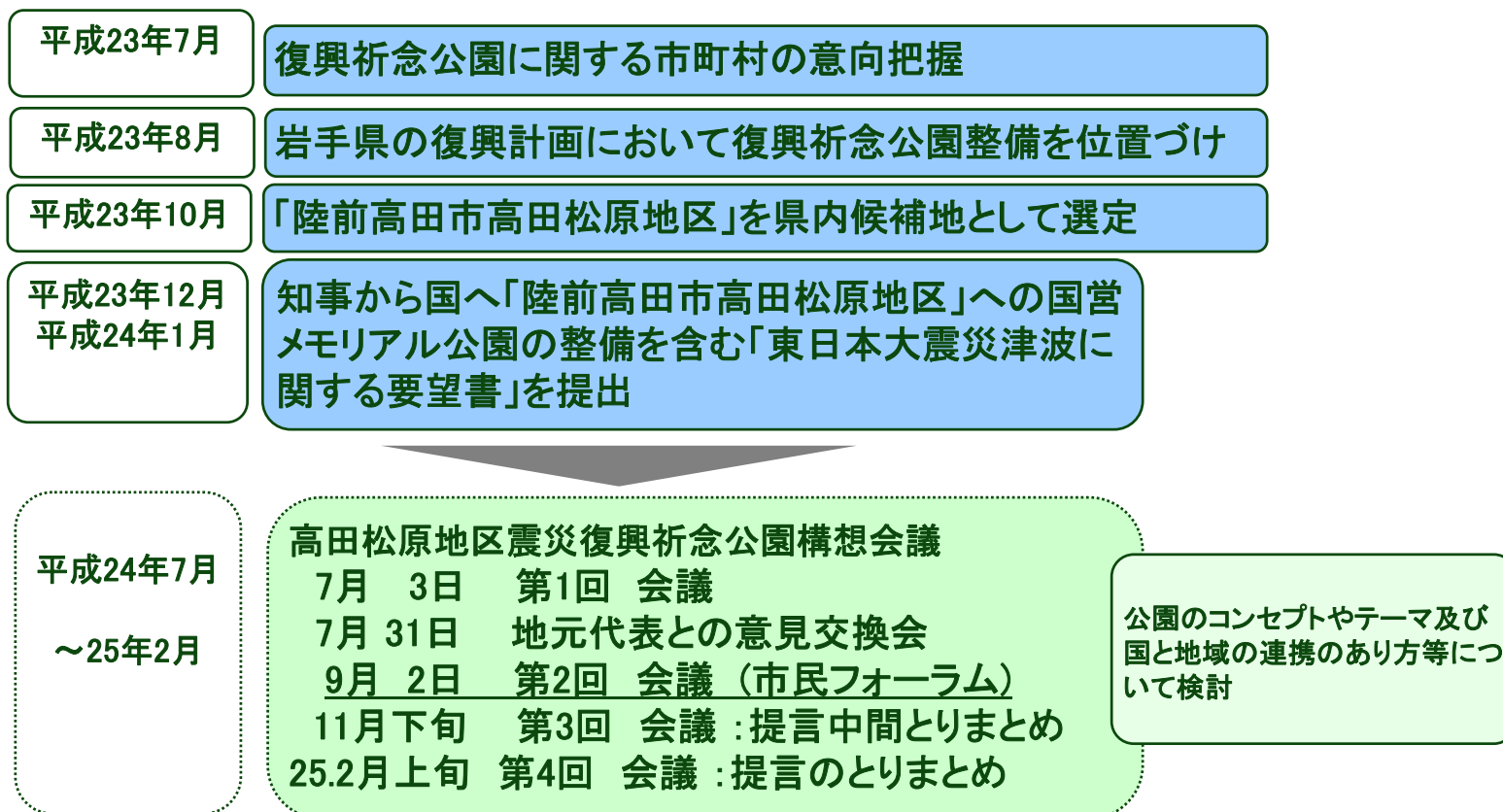
### 《選定の基本的考え方》

- 1) 壊滅的な被害を象徴する土地であること
- 2) 多重防災機能を発揮して、復興まちづくりに多大な貢献が期待できること
- 3) 住民の生命を確実に守り、一定期間留まることのできる避難地としての役割を果たすことができること
- 4) 過去の大津波被害の記録や教訓を防災文化として次世代に継承するため、国内外に情報発信する防災教育機能や研究機能を備えることができること



## 2. 国営メモリアル公園誘致にむけた岩手県の取り組み

- ◇「岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画（第1期）」でメモリアル公園等の整備を位置づけました
- ◇震災復興祈念公園に関する国の会議に参加するとともに、陸前高田市と連携して「高田松原地区震災復興祈念公園構想会議」において、公園のコンセプトやテーマ及び国と地域の連携のあり方等について検討しています



### 3. 高田松原周辺における県管理施設等の復旧方針

#### 1 海岸保全施設(防潮堤等)

一線堤(砂浜と松林の境界にあった堤防):被災前と同じ天端高T.P+3.0mで復旧

二線堤:従来T.P+5.5mの天端高であったものをT.P+12.5mの高さで復旧

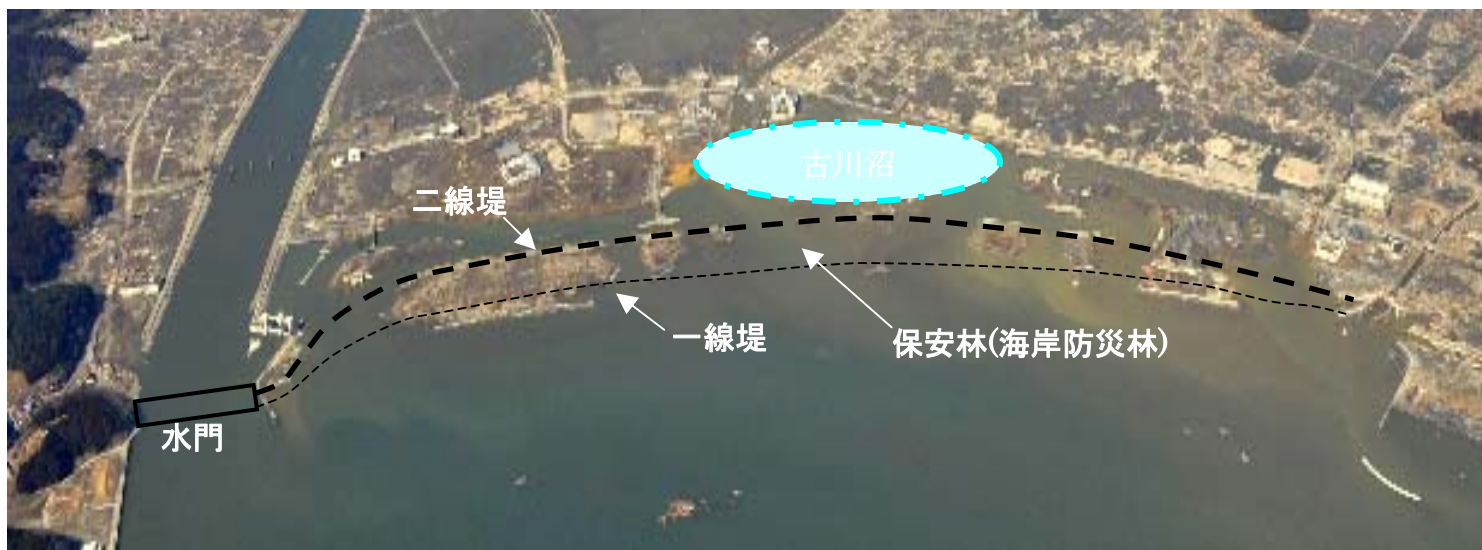
併せて、気仙川河口に水門を新設する

#### 2 保安林(海岸防災林)

一線堤と二線堤の間を埋め立てて、松を植栽し保安林を復旧(公園の森林空間としても活用)

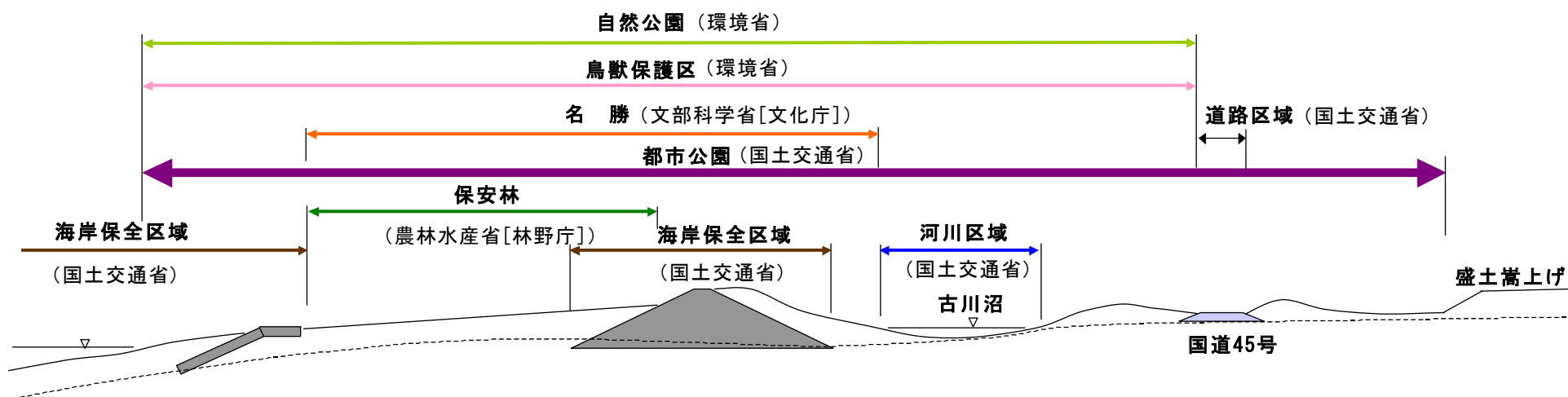
#### 3 二級河川川原川(古川沼)

二線堤の背後に、川原川の一部として古川沼を復旧(公園の水辺空間としても活用)



## 4. 高田松原地区の土地利用に関する法規制

( )内は、規制に関する法の所管官庁



区域等指定の断面イメージ

## 5. 三陸創造プロジェクト ～取組の事例(国際防災研究拠点)

### 『国際研究交流拠点形成』プロジェクト

#### 国際素粒子・エネルギー研究拠点

日本が世界をリードする粒子線加速器を中核とした「国際素粒子・エネルギー研究所」創設し、『国際リニアコライダー(ILC)』を誘致

三陸地域の復旧、復興はもとより長期的な視点に立ち、復興を象徴し、世界に誇る新しい三陸地域の創造を目指す

#### 国際海洋研究拠点

これまでの海洋環境・生態系等の研究実績の蓄積を活かし、地球海洋科学、生命・水産分野などの国内外の研究機関を誘致、世界的な調査研究を実施

#### 国際防災研究拠点

- ・地球物理学、大規模地震、津波発生メカニズム研究、津波防災の研究の国際研究所を誘致
- ・防災に関するまちづくり、人材教育・訓練、メリアル、災害避難、支援物資備蓄・供給等の機能
- ・災害関連データを蓄積し、後世への継承を図るとともに、国内外の研究者・防災関係者のフィールドを提供
- ・世界中の人々の地震津波に対する防災学習と啓発体制の構築
- ・世界の防災研究者が集う、防災モデル都市の建設と情報発信

## 6. 東日本大震災復興祈念公園に関する国の検討状況

- ◇中核的な震災復興祈念公園の候補地、規模、事業手法、大まかな基本構想の立案を行う「東日本大震災復興祈念公園検討会議」には、岩手県副知事が参加しています
- ◇震災復興祈念公園の意義、担うべき役割、基本的な理念等に関する技術的な側面から検討する「震災復興祈念公園基本構想検討会」には、オブザーバーとして岩手県都市計画課が参画しています

※「第2回東日本大震災復興祈念公園検討会議(H24.3.16)資料」より

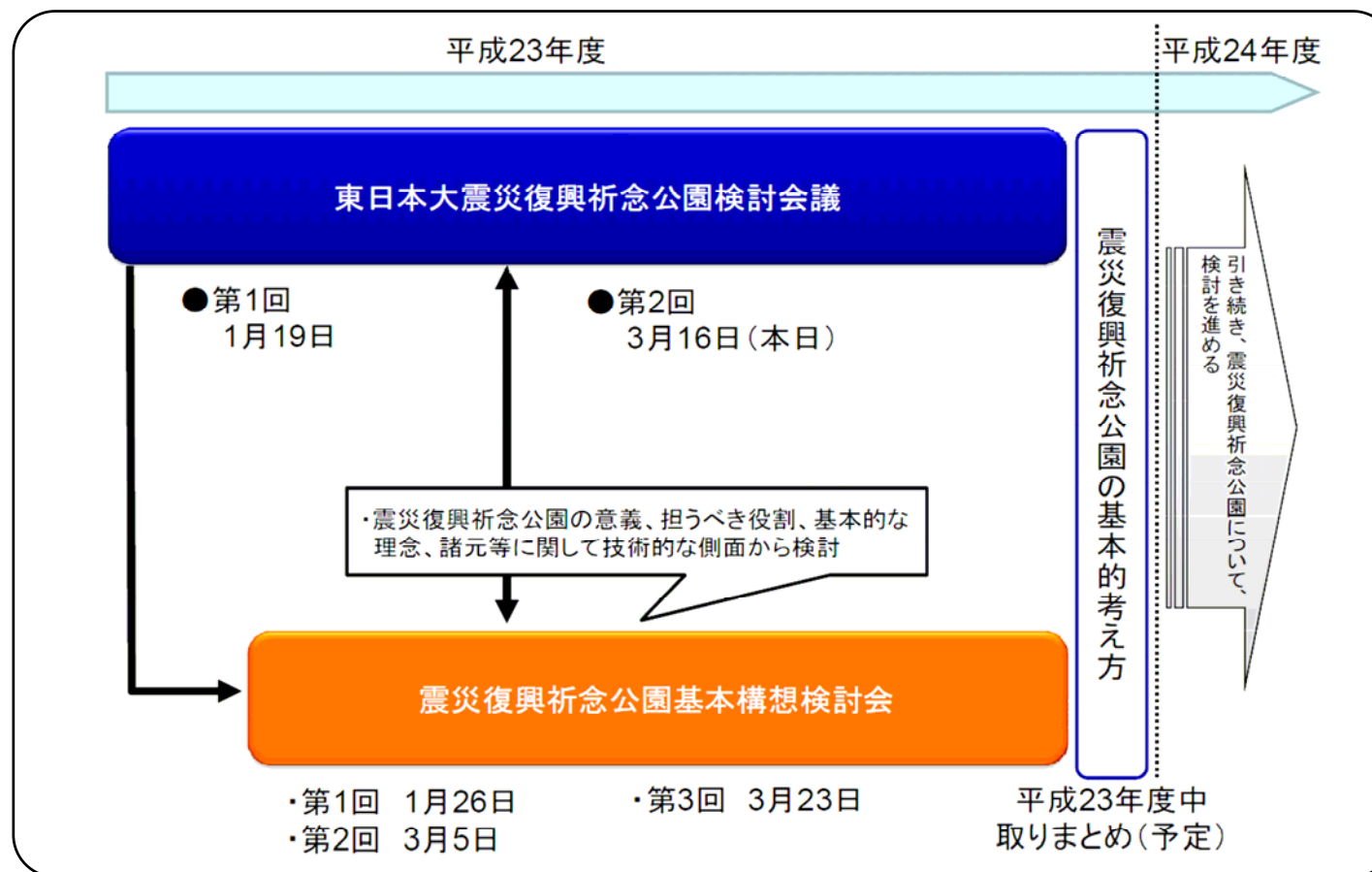
- ◇震災復興祈念公園のあり方に関する主な論点として、以下の3点が挙げられ、それぞれに検討の方向性などが示されています

- 論点 1 震災復興祈念公園の役割は何か
- 論点 2 震災復興祈念公園に関する国と地方の役割はどうあるべきか
- 論点 3 国と地方が連携して検討する震災復興祈念公園とはどのようなものか



## 6. 東日本大震災復興祈念公園に関する国の検討状況

◇国の関係機関及び被災3県を構成員とする「東日本大震災復興祈念公園検討会議」を設置するとともに、震災復興祈念公園について技術的側面から検討を行う有識者を構成員とする「震災復興祈念公園基本構想検討会」を設置し、検討が進められています



「東日本大震災復興祈念公園検討会議資料(国土交通省)より抜粋」

### 3 第1回高田松原地区震災復興祈念公園構想会議 及び地元代表との意見交換会の概要

---

1. 第1回高田松原地区震災復興祈念公園構想会議の概要
2. 地元代表との意見交換会の概要
3. 公園のコンセプト・テーマに関わる6つのキーワード

# 1. 第1回高田松原地区震災復興祈念公園構想会議の概要

- 開催日時  
平成24年7月3日(火)  
15:00～17:15
- 開催場所  
マリオス18階183会議室  
(盛岡市内)



写真：第1回高田松原地区震災復興祈念公園構想会議

## ● 論点とキーワード

### 【論点1】津波防災文化の醸成と継承

#### 【キーワード】

- ① 津波常襲地帯の防災文化の継承
- ② 自然の再生力を学ぶ場の創造
- ③ 被災の記録、遺構の保存及び教訓の継承
- ④ 防災研究の拠点化
- ⑤ 未来を担う子どもたちへの津波防災教育

### 【論点2】陸前高田における震災復興祈念公園の意義

#### 【キーワード】

- ① 350年の歴史をもつ高田松原の再生
- ② 国内外から注目を浴びる一本松の保存
- ③ 市民活動の歴史を継承する協働の公園づくり

## 2. 地元代表との意見交換会の概要

- 開催日時  
平成24年7月31日(火)  
13:00～15:00
- 開催場所  
陸前高田市役所4号棟  
第6会議室



写真：地元代表との意見交換会

① 市民の皆さんが公園と、どのように関わっていくことが出来るか？  
あるいは、関わる必要があると考えるか？

これまでの公園への市民の関わり方  
～松原を守ってきた歴史・経験～

松原を守って  
きたことが重要

松原の  
パトロール

松原を  
守るために

パトロールにより  
守ってきた  
みんなで努力  
してきた

↓  
守られてきた

野球場ナイター  
の高さについて  
議論

これからの公園への市民の関わり方  
～創る・再生する段階から市民が関わる～

このような  
意見交換の場を  
もっと！！

公園のとりまとめ  
事業コンペで  
市民が選ぶ

再生の過程から  
関われる形

再生と接するこ  
とができる取組



## 2. 地元代表との意見交換会の概要

### ②どのような公園にしたいか？（保全もしくは再生したいもの）





## 2. 地元代表との意見交換会の概要

### ③どのような公園にしたいか？（新たに創出したいもの）

#### 命（いのち）

“命は何？”  
と問うことが  
重要

コンセプト  
『命(いのち)』  
『命(いのち)』  
とは何か？

#### 「防災」をテーマとしたまちづくり

防災でNo.1  
のまち

元々防災意識  
の高いまち

売り  
→防災訓練  
体験

防災と観光

観光としての  
防災訓練

防災都市  
(産業の観点も)

#### 災害の記憶の伝承

大津波を  
いかに伝えるか

公園コンセプト  
“大津波”を  
未来へ伝える

#### 安心できる環境

安心して生活  
できる環境

(新)高齢者  
& 障害者  
憩いの場

#### 自然・環境等の活用（教育等）

自然の生命を  
学ぶ場

(自然・環境等)  
教育の場

公園を起点と  
して新しいもの  
を創造

→新しいものを  
うみだせる

#### 犠牲者への追悼・鎮魂の場

追悼・鎮魂の場

津波で亡くな  
られた人の数の  
桜植樹

古川沼周辺に  
サクラ・ツバキ  
植樹

#### 公園等と連携した地域の活性化

アート

パラリンピック  
会場(活性化)  
へつながる

#### 定住・交流人口を増やす施設

教育関係者  
宿泊施設

定住人口の  
増大

定住人口増  
教育、研究  
の場

交流人口↑

教育拠点  
(宿泊も)

定住人口↑

### 3. 公園のコンセプト・テーマに関わる6つのキーワード

#### ① 災害の記憶の伝承（津波防災文化、風化させない継承、壊滅的被害の記録）

- 1) 被災施設等の保存による記憶の継承事例
- 2) 災害の悲劇を象徴するモニュメントによる記憶の継承事例

#### ② 犠牲者への追悼・鎮魂（命の尊さ、命について考え問い続けること）

#### ③ 防災をテーマとした交流や教育（防災研究フィールドとしての施設整備）

#### ④ 自然・環境の保全・創造と活用（自然の再生力、高田松原の再生）

#### ⑤ 公園等と連携した地域の活性化（地域経済、雇用、教育、文化）

#### ⑥ 地域とともに育む公園（伝承や再生過程への市民参画、市民に愛され 利用し続ける公園）